



茶内小だより

茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

楽しい学校生活を送るために

校長 佐野 万由里

夏休みが終わり、静かだった学校に子どもたちの明るい声と元気な姿がもどってきました。両手いっぱい夏休みの作品や自由研究、学習道具を持って登校してきた子どもたちの顔は、どの子も笑顔にあふれていました。

25日間の夏休みを振り返りますと、まず3年生以上を対象とした「学習会」を7月26日と27日の2日間実施致しました。1学期の学習内容を復習し、さらに理解を深め知識を定着させることを目的に放課後学習と同様、複数の教師がついて学習サポートをしました。2日間の参加人数は、延べ70名程でしたが、子どもたちはみな一生懸命に取り組んでいました。

また、8月5日にはPTA主催の「七夕・花火大会」が開催され、多くの皆さんが参加され楽しい一時を過ごしました。ご協力頂きましたPTA施設部・厚生補導部・三役のみなさま、ありがとうございました。

さらに地域では、ラジオ体操や盆踊りが開催され、子どもたちが地域の中で見守られ、大事に育てられていることがわかり、大変嬉しく思いました。今後、学校・家庭・地域が連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現をめざしていかなければなりません。これまで以上に保護者や地域の皆様と連携し、互いの教育力を高め、双方で子どもを育む取り組みを推進して参りたいと思います。

さて、始業式で子どもたちに「楽しい学校生活を送る」ために大切なことを3つ話しました。

1つ目は、規則正しい生活と学習習慣を身に付けるということです。「早寝・早起き・朝ごはんに勉強」を心掛け、生活の習慣をつけるということです。睡眠不足で体調が悪いと学校生活を楽しむことはできません。「寝る子は良く育つ」と昔から言われていますが、これは科学的にも証明されています。成長ホルモンは、体の成長や疲労回復、脳の発達に重要な役割を果たしています。元気よく過ごすためには、毎日の朝ごはんは、活動のエネルギー補給だけでなく脳や体を自覚させるためにとても大切です。朝ごはんをしっかり食べ元気に過ごし、しっかり勉強ができるようにしていきたいです。学校では、「学習の約束」「学習用具」「家庭学習」などを見直し学習環境を整えていきます。家庭では、電子メディアの使用時間、使用方法などについて「家庭で取り組むレッツ5」(茶内小学校PTA)を活用して、お家でも確認をお願いします。

2つ目は、いつでも・どこでも・相手としっかりあいさつをし言葉遣いに気を付けるということです。

日常生活の中のあいさつはたくさんあります。私も朝、子どもたちとあいさつを交わし、子どもたちから元気やパワーを貰っています。あいさつは「心の扉を開く」魔法の言葉です。子どもたちの明るいあいさつは、学校全体を明るくしてくれます。来客、地域の方ともあいさつするよう心掛けて欲しいです。また、相手や場など状況に応じたあいさつや言葉遣いができるよう日常的に指導をしていきたいです。

3つ目は、友だちと仲良く認め合い、励まし合い、協力し合うということです。

子どもたち同士で認め合い、励まし合い、協力し合うことでよい学級やよい学校が生まれます。相手の立場や気持ちを考えて「思いやりの心」をもち、行動することが大切です。行事や集会などを通し、私からも子どもたちに話をしていますが、人を傷つける言葉や態度に気をつけ、自分と友だち一人一人を大切にし合える学級集団になってほしいと願っています。

保護者の皆様には、引き続き、学力・体力の土台となる「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣と家庭学習の習慣へのご協力をお願い致します。2学期は子どもたちが、勉強や運動に取り組む絶好の季節です。茶内神社祭、マラソン記録会、学芸会、PTA餅つき会等へのご理解・ご協力をいただき、本校の教育理念である「連携・協働しながら子どもたちを育て上げる学校づくり」をめざし、子どもたちのために頑張っ参ります。今後とも、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

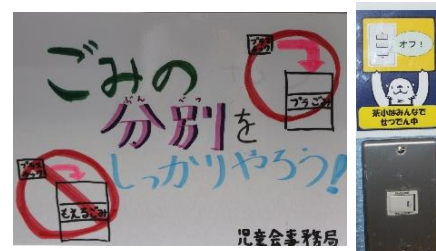
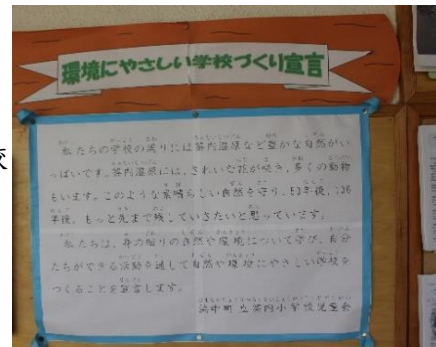
環境 ISO とは？

廊下の掲示板に「環境にやさしい学校づくり宣言」「認定証」が掲示されています。この取り組みは、ISO14001の国際規格をもとに学校版環境ISO認定基準を浜中町が設定し、各校ですすめられています。茶内小では、次の内容が認められ認定に至りました。

- ・総合的な学習の時間で、自然を知り守る活動を行っていること
- ・児童会及び委員会がリーダーシップをとって、ペットボトルキャップを集めるなどの活動を行っていること
- ・節水や節電、紙等のリサイクルを積極的に推進していること
- ・教職員の環境に対する意識が高いこと

認定式は、平成30年9月7日わくわくタイムに行います。全校児童・教職員で参加し、児童会長が認定書を受け取ります。

今後「環境にやさしい学校づくり」のために、地域や家庭からご支援をいただく場面もあるかと思います。その時は、どうぞよろしくお願い致します。



夏休みのラジオ体操

今年も地域の畠山さんを中心にスポーツ推進委員の皆様が毎日実施してくださいました。7時の町内の放送で、地域の方々も集まってきました。毎日通った子ども達もいたようです。

9月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	土	週休日 茶内神社祭宵宮
2	日	週休日 茶内神社祭本祭
3	月	午前授業(1~5年生) 音楽科授業公開(6年生)
4	火	
5	水	みんなの広場(情報委員会発表)
6	木	たてわり班清掃 浜中町児童芸術鑑賞会
7	金	クラブ 北方領土学習(5年生) 環境ISO認定式
8	土	週休日
9	日	週休日
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	たてわり班清掃 放課後学習 水泳学習(中)
14	金	児童委員会
15	土	土曜授業日(マラソン記録会) 地域参観日
16	日	週休日
17	月	敬老の日
18	火	
19	水	
20	木	たてわり班清掃
21	金	クラブ
22	土	週休日
23	日	週休日 秋分の日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	
27	木	茶一交流学習 乗り入れ授業 放課後学習
28	金	児童委員会 学校便り発行
29	土	週休日
30	日	週休日 茶中文化祭

よいよい学校づくりのために

7月号では、保護者アンケートの結果をグラフにてお知らせいたしました。今回は、教職員・保護者・児童の三者を比較しながら、「よいよい学校づくり」について考えていこうと思います。

【思いやりのある子】

○4.0ポイントを超えている項目が多い。
→今年度は「豊かな心の育成」「思いやりの心を育む教育」を重点としています。各行事や児童会活動、学級経営において教職員が意識して取り組んできたことの表れであると捉えています。

○自尊感情を高める指導、個に応じた指導に関して3.6ポイント以下
→自尊感情は、人が生きていく上で精神的に健康に生きていくための全ての土台です。自尊感情を高めることは、将来にわたり生き抜いていくために密接につながっていくと考えています。

→【子どもの話をさえずらずに聞くこと】～相手の時間を大切にすること～
「ほめる」前に、子どもの話に耳を傾けること。子どもをありのままに受け止め、話をさえずらずに最後まで聞くことが大切です。否定することなく「そう考えたんだね」「そう思ったんだね」と受け入れることが自尊心を高めます。

【自ら鍛える子】

○生活習慣にかかわる項目(早寝・早起き・朝ごはん、家庭学習、メディア)が3.5ポイント以下。
→基本的な生活習慣についての意識付けは、今後も継続的に進みます。

→家庭学習については、今後、「家庭学習の手引き」を配付し、手引きに沿った指導をしますので、家庭でも同じ指導ができるようご理解・ご協力をお願いします。

→「家庭で取り組むレッツ5」は、家族のみんなが見える所に掲示するようにしましょう。テレビの視聴時間やタブレットやスマホに触れる時間については、話し合っ

て決めるようにしてください。
※「家庭で取り組むレッツ5」が必要な家庭は、お子様を通して、学校までお知らせください。

○体力向上にかかわる項目が低い。

→本校においても、子どもは、体を動かすことがとても好きであることがわかりました。「運動を好む子ども」の育成のために、D-E層の子どもの人数を減らす取り組みをしてきました。27%→15%にすることができ、本校の児童の体力は確実に向上しています。

→児童委員会の機能を生かしながら、目的をもって運動に取り組めるよう運動環境を今後も検討していきます。

【進んで学ぶ子】

○「学習規律」「主体的な学び」にかかわる項目が低い

→掲示物としては、児童に周知しているものの、行動の徹底までには至っていないという評価をいただいています。目指す姿を明示し、粘り強く指導をしていこうとしています。
→本校の重点である「豊かな心の育成」も踏まえ、自尊心と主体性の両輪を視点とした授業づくりができるよう研修に努めます。

学校目標	番号	評価者	各評価指標	項目別平均	評価者別平均	観点別平均
思いやりのある子	④	児童	子どもの「困り感」に寄り添い、愛情を注いで信頼関係を築くことに努めたか。	4.25	3.86	3.93
	⑤	児童	子ども一人ひとりが生き生きと活動し、自己存在感を高め、互いをかけがえのない存在として認め合える学級づくりに努めたか。	3.83		
	⑥	児童	学年の枠を超えた交流学習などを積極的にに行い、学級を聞いて多くの関わりの中で子どもを育てよう努めたか。	4.00		
	⑧	児童	学校教育全体を通じ、思いやりの心を育む教育に努めたか。	4.00		
	⑨	教職員	学校行事や児童会活動のねらいを明確にした指導を展開し、集団の帰属意識を高め、成就感や達成感を味わわせてきたか。	4.08		
	⑪	児童	学校生活の中で自己存在感を持たせる指導に努め、自尊感情を高めるよう努めたか。	3.58		
	⑫	児童	Q-Uテストや個人面談を通して児童の実態を把握し、必要に応じて集団の改善に取り組むなど、支持的な風土の集団づくりに努めたか。	3.75		
	⑬	児童	生活や学習における困難を克服するため、個に応じた指導や支援が適切に行われていたか。	3.69		
	⑮	児童	個別の指導計画や支援計画に基づき、支援体制の整備に努めていたか。	3.54		
	1	保護者	茶内小は、認め合い、励まし合い、協力し合う子どもを育てる教育活動を連携・協働して行っていると思いませんか。	4.00	3.85	
	2	保護者	茶内小は、挨拶や礼儀、ルールを守ることを大切にしている教育活動を行っていると思いませんか。	3.84		
	3	保護者	茶内小は、人を思いやる心を育てる教育活動を行っていると思いませんか。	4.00		
	4	保護者	茶内小は、いじめ調査や個人面談、学級づくりをとおして、いじめの未然防止に努めていると思いませんか。	3.54		
	自ら鍛える子	(1)	児童	友達や仲間と認め合い、励まし合い、協力し合っている。	4.36	4.40
		(2)	児童	挨拶や礼儀、ルールを守っている。	4.44	
⑬		教職員	「運動することを好む子」の育成を目的とした児童の体力向上プランに沿って取り組み、努めたか。	3.77	3.60	
⑭		教職員	「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される規則正しい生活習慣の確立を目指し、努めたか。	3.42		
⑮		教職員	校舎内外の清掃活動への積極的な参加と校舎内の環境美化・保全に努めたか。	3.62		
5		保護者	茶内小は、体を動かすことを好む子どもを育てる教育活動を行っていると思いませんか。	3.60	3.71	
6		保護者	茶内小は、規則正しく生活する習慣を身に付けさせる教育活動を行っていると思いませんか。	3.64		
7		保護者	茶内小は、体力を高めるために適切な教育活動を行っていると思いませんか。	3.33		
8		保護者	茶内小は、子どもの体力や生活の様子をよく理解していると思いませんか。	3.52		
(3)		児童	体を動かすことが好きだ。	4.56	4.27	
(4)		児童	規則正しく生活する習慣が身に付いている。	3.99		
進んで学ぶ子		⑦	教職員	学習環境を整え、学習の約束の指導を図り、確かな学力の定着に努めたか。	3.83	3.80
		⑩	教職員	自らの課題に対し、学び方やもの考え方を身に付けながら追究し、問題の解決や探求活動に主体的に取り組めることができたか。	3.58	
		⑫	教職員	研修の目的や内容、方法を共有し、日々の実践を基盤とした研修の充実を図るよう努めたか。	3.85	
		⑪	児童	日々の授業づくりや授業改善をし、資質能力の向上につとめたか。	3.92	3.90
	9	保護者	茶内小は、「わかった。できた。」を求めて、楽しく学ぶ子どもを育てる教育活動を行っていると思いませんか。	3.81		
	10	保護者	茶内小は、学力を高める授業や学習指導を行っていると思いませんか。	3.71		
	11	保護者	茶内小は、家庭学習や宿題などについて適切な指導をしていると思いませんか。	3.98		
	12	保護者	茶内小は、「学習の約束」を大切にしている指導をしていると思いませんか。	3.59	4.37	
	(5)	児童	「わかった。できた」という喜びを感じながら楽しく学んでいる。	4.51		
	(6)	児童	「学習の約束」を大切にしている。	4.24		
	家庭・地域との連携及び	⑫	教職員	お便りや参観・懇談を通して積極的に教育活動を公開していたか。	4.29	4.23
		⑮	教職員	保護者や地域と連携・協働し、地域人材や地域素材を生かした教育活動に努めていたか。	3.79	
		⑯	教職員	家庭や地域からの電話・相談・要望に丁寧に対応していたか。	4.21	
⑳		教職員	報告・連絡・相談・確認を速やかに行い、期限を守りながら円滑な業務の推進に努めていたか。	3.93		
⑱		児童	徴収した金銭は、適正に管理され、速やかな処理がされていたか。	4.93	4.13	
13		保護者	茶内小は、お便りや、参観・懇談を通して、積極的に教育活動を公開していると思いませんか。	4.43		
14		保護者	土曜授業日(参観日・マラソン大会・もちつき会)は、学校を訪れる良い機会になっていますか。	4.33		
15		保護者	茶内小は、お子さんの教育に関する相談をしやすいですか。	4.02	4.04	
16		保護者	茶内小は、家庭や地域の人材や資源を効果的に活用していると思いませんか。	3.39		
(7)		児童	困ったことや悩みがあったら、家族や先生に相談している。	3.96	3.96	
①		教職員	本校の教育理念「学校は子ども達のためにあることを根幹にし、連携・協働しながら子どもを育て上げる学校」をめざした教育活動が展開されていたか。	4.00		
②		教職員	学校全体で取り組む視点を明確にし、全教職員の協働体制によりその取組を推進されていたか。	3.93	3.90	
③		教職員	定められた教育課程の中で、そのねらいを達成できるような教育活動の計画・実施に努めていたか。	3.79		
子どもの様子	17	保護者	お子さんは、家庭学習の習慣(学年×10分程度)が身に付いていますか。	3.33	3.83	
	18	保護者	お子さんは、外遊びや運動を進めていますか。	4.00		
	19	保護者	お子さんは、テレビ視聴時間やゲームのやり方のルールを守っていますか。	3.18		
	20	保護者	お子さんは、学校へ行くことを楽しみにしていますか。	4.22		
	(8)	児童	学校に行くのが楽しんだ。	4.20		

浜中町立茶内小学校PTA 家庭で取り組むレッツ5

1 早ね、早おき、朝ごはん！
一日の始まりをすっきり元気にスタートさせたいものです。早まった時間に起き、たっぷりの朝飯と朝ごはんを食べたいです。昼寝リズムを整えたいです。

おきね 時 分 ねる 時 分

2 食事の後は、歯みがき！
歯みがきをしなくてはいけません。歯垢や口臭の原因になります。歯垢を落とすことで歯が丈夫になります。歯垢を落とすには歯みがきが必要です。歯垢を落とすには歯みがきが必要です。歯垢を落とすには歯みがきが必要です。

3 家族であいさつ、明るい一日！
あいさつは、顔でなくてもいいです。「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「さようなら」をしっかりと声をだして話しかけましょう。家族みんなが笑顔で話しかけると、家族みんなが笑顔になります。

4 歩いて学校、外遊び！
本日の子どもたちの体力は、全体的に見ても十分に足りません。歩いて通学することや外遊びを奨励し、体を動かす機会を増やします。また、ペア運動の子どもたちも積極的に体を動かす機会を増やします。

5 メディアにふれるのは、2時間まで！
テレビ・ゲーム・タブレット・スマートフォンは、お楽しみですが、やり過ぎはよくありません。テレビ・ゲーム・タブレット・スマートフォンは、お楽しみですが、やり過ぎはよくありません。テレビ・ゲーム・タブレット・スマートフォンは、お楽しみですが、やり過ぎはよくありません。

プラス！ ～おうちで決めたルール～

※ 家族が見える場所に掲示してください。

茶小働き方改革①

ニュース等で「働き方改革」を耳にすることが増えていています。過労が原因で命を落とした人は、毎年200人近くになっているそうです。学校においても健康管理やパワハラ防止を徹底し、『子どもの未来のため』に、元気な職場、元気な教職員のための環境づくりが求められています。

2016年度の平均勤務時間	中学校		小学校	
	平日	土日	平日	土日
1週間	11時間32分(32分)	3時間22分(1時間49分)	11時間15分(43分)	1時間7分(49分)
	12時間6分(21分)	2時間6分(54分)	12時間12分(49分)	1時間49分(49分)
1週間	10時間37分(18分)	1時間59分(1時間5分)	10時間37分(26分)	1時間29分(47分)
	63時間18分(5時間12分)	63時間36分(2時間27分)	57時間25分(4時間9分)	54時間59分(2時間40分)
*カッコ内は10年前に比べ増加した時間				

この表は、全国の小中学校教員の平均勤務時間です。茶小についても5～7月に実態を調べました。おむね全国平均と変わらないくらいですが、個々では1日当たり8～14時間といったように差があります。
※ 8時間(8-16時) →週40時間
※ 10時間(8-18時) →週50時間
※ 12時間(8-20時) 過労死ライン →週60時間
※ 14時間(8-22時) →週70時間

そこで茶小では、目安としての退勤時刻(19時)を設定するとともに、**勤務時間を意識した働き方**を模索しています。

- 【勤務時間内】学級事務、成績処理、教材研究、学年作り作成、各種会議 etc
- 【勤務時間外】専門教科研究、外部研究団体、趣味etc

勤務時間内の業務をできるだけ効率化・軽減化をし、教師としての資質能力を上げるための時間を確保するとともに健康維持のための時間を作り出せるよう取り組みを進めているところです。すでに給食費・教材費の銀行振込やメール配信(開封確認)・メールアンケートにご協力いただくことで、本来業務に向き合うことができる時間が増えてきています。今後も保護者・地域の皆様にご協力いただくことが出てくると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

9月の重点！ 「メディアにふれるのは2時間まで」

「家庭で取り組むレッツ5(ゴー)」の5番目の項目です。今回の学校評価アンケートで最も低い値でした。メディア～テレビ、タブレット、スマホ、携帯電話etc
各家庭でメディアの利用時間について話し合っ、1日の時間の使い方について考えてみてください。

